

シリーズ⑦ 学力向上への道

わが校の学力向上の
取り組みについて



中山小学校では、学力向上のため、次のような取り組みをしています。

より良い授業づくり

児童が確かな学力をつけるため、すべての教科の基礎となる国語科を中心にすえてより良い授業づくりに取り組んでいます。

児童が意欲的、主体的に取り組むようになるような「単元を貫く言語活動」を設定し、授業を展開しています。



▲授業での学び合い

教科書を単純に読み取るだけでなく、教材文で学んだ表現や文章構成の工夫などを生かして、自分が図書館から選んだ本でも読みを深めたり表現したりしています。言語活動の例としては、1年生の「乗り物秘密ブック」を作る活動、2年生の音読劇、5年生の「好きな本の書評づくり」などです。

今、子どもたちに必要なのは、わくわく感と目的意識です。「誰に」（相手意識）「どんなこと」（目的意識）を伝えたいのかを明確にさせ、何のためにこの学習をしているのかを意識させることが大切です。

読書活動の充実

授業の質と内容を変える取り組みの中心となるのが読書活動です。授業で教材文を読むだけでなく、並行読書と



▲並行読書

して「シリーズ作品を読む」「テーマを決めて読む」「目的に応じて本や文章を比べて読む」などしています。廊下や教室には、単元に関連する本が並び、多様な本と出会う機会となっています。

読書活動はすべての学習の基盤であり、学力向上の大きな柱となっています。

基礎・基本を大切に

漢字力、計算力の向上のため、月例テストを行っています。



▲地域ボランティアによる音読会

全員が100点を取ることをめあてに出題範囲を事前に知らせ、家族も一緒に取り組んでいます。テストに向けて自主的に勉強する姿が見られ、自学自習の態度が育っています。

また、脳の活性化を図り、集中力を高めるために、朝の15分間をチャレンジタイムとして、音読、フラッシュ学習、計算練習を行っています。

さらに、週2回、ボランティアの方に詩や教科書の文章、百人一首などを聞いていただいています。家庭で練習してきた成果を発揮する良い機会です。相手意識や目的意識も育ち、全校朝会で行う各学年

の音読発表は、工夫を凝らした音読となっています。

家庭学習の充実

3年生以上では、自学ノートを活用し、自主的な家庭学習を行っています。授業と家庭学習の連動を図り、予習してきた内容を授業で取り上げる取り組みも始めています。

さらにPTAと共同で進めているのが、「家庭学習・生活がんばり週間」です。がんばりを記録することにより、自分の取り組みを振り返り、次の取り組みに生かすようにしています。

その他にも、体力向上を目指す朝マラソンと水泳・陸上練習、運営委員会のあいさつ運動やゲストティーチャーを招聘して行う総合的な学習など、様々な取り組みにより、学校教育目標である「確かな学力と豊かな心を持ち、心身ともに健康な子ども」が育っています。